

誰もが安心して過ごせる学校をつくる ために

中学校

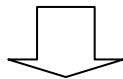
目的 さまざまな人権問題を解決するため、これまで学んだことをもとに、自分の身近に目を向け、誰もが安心して生きることができる学校・社会を築くための実践的態度を養う。

気づく

自分や自分のまわりを見つめ直そう

これまでの人権学習をもとに、自分や自分のまわりの人権課題についてグループで考える。

分類法（KJ法）によるワークショップ等

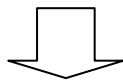


広げる・深める

誰もが安心して過ごせる学級や学校にするために大切なことを話し合おう

グループで学級アピールを考える。

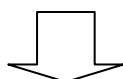
グループで話し合う。



計画する

グループで話し合ったことを学級で発表し、学級アピールとしてまとめよう

学級で各グループの発表を行い、学級で大切にしたいことをまとめる。全校にアピールする内容を学級でまとめ、表現や発表を工夫する。

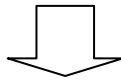


実践する

全校（学年）に掲示したり、発表したりしよう

全校（学年）で確認しあう。
誰もが安心して生活ができる学校づくりへの意欲を高める。

全校「人権の集い」を実施し、垂れ幕等にアピールを書いて発表してもよい。

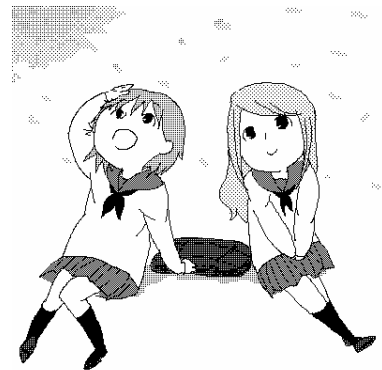


振り返る

実践を振り返ろう

全校に掲示後、一定期間をおいて自分や自分のまわりのよい実践をグループで出し合い、学級で発表する。

全校集会で、各学級の成果を発表してもよい。



【学習を進めるにあたって】

- ・学校づくりのひとつの方法として学級アピールをする場合には、毎年実施することで、学校の人権文化を創り上げる一助ともなる。
- ・生徒会の活動に位置づけ、人間関係づくりや互いの信頼を高めることを目的としてすすめることもできる。